

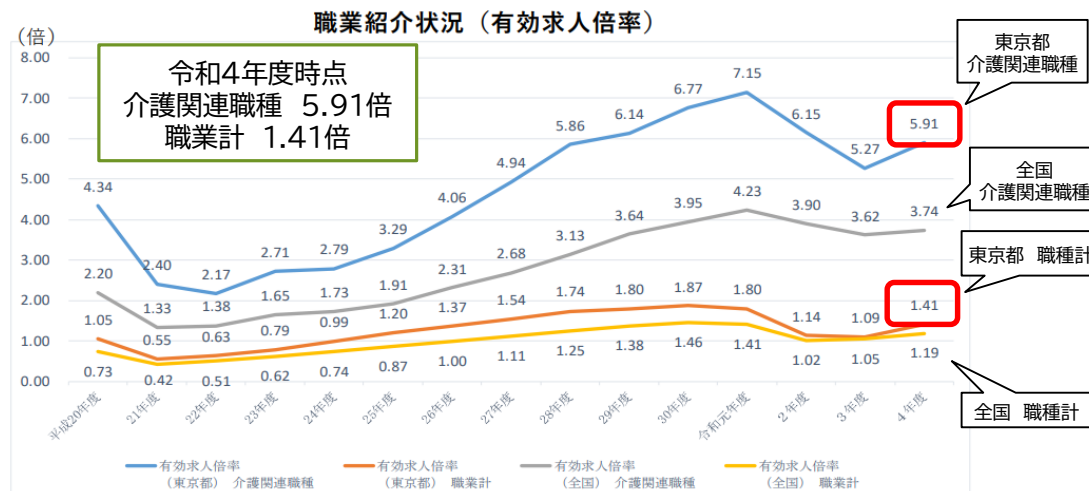
介護人材の確保・定着について

調布市 福祉健康部 高齢者支援室

現状・課題

生産年齢人口の減少などにより、業種に関わらず人材不足が生じている中、介護関連職種は他業種と比べて有効求人倍率が大きい状況です。安定的に介護サービスを供給できる体制の確保ため、介護人材の確保・定着に向けた取組が課題となっています。

介護関連職種の有効求人倍率(第9期東京都高齢者保健福祉計画)



(注1) 各年度の有効求人倍率は、公共職業安定所における「有効求人数」を「有効求職者数」で除して得たもの（パートタイム（1週間の所定労働時間が通常の労働者に比し短い者をいう。）を含む常用（雇用契約において雇用期間の定めがないか又は4か月以上の雇用期間が定められているもの（季節労働者を除く。）をいう。）に限る。）。

(注2) 介護関連職種とは、福祉施設介護員やホームヘルパー等を指す。

資料：厚生労働省職業安定局「職業安定業務統計」

国の主な取組(令和6年7月厚生労働省報道発表資料)

総合的な介護人材確保対策（主な取組）

①介護職員の処遇改善	- 介護人材の確保のため、これまでに累次の処遇改善を実施。介護職員処遇改善加算、介護職員等特定処遇改善加算、介護職員等ベースアップ等支援加算の創設・拡充に加え、介護職員の収入を2%程度(月額平均6,000円相当)引き上げるための措置を、2024年2月から5月まで実施。 - 令和6年度報酬改定では、以下の改正を実施。 - 介護職員の処遇改善のための措置をできるだけ多くの事業所に活用されるよう推進する観点から、3種類の加算を一本化。 - 介護現場で働く方々にとって、令和6年度に2.5%、令和7年度に2.0%のベースアップへと確実につながるよう、加算率を引き上げ。
②多様な人材の確保・育成	- 介護福祉士修学資金貸付、実務者研修受講資金貸付、介護・障害福祉分野就職支援金貸付、再就職準備金貸付による支援 - 中高年齢者等の介護未経験者に対する入門的研修の実施から、研修受講後の体験支援、マッチングまでを一体的に支援 - 多様な人材層の参入促進、介護助手等の普及促進 - キャリアアップのための研修受講負担軽減や代替職員の確保支援 - 福祉系高校に通う学生に対する返済免除付きの修学資金の貸付を実施
③離職防止定着促進生産性向上	- 介護ロボット・ICT等テクノロジーの導入・活用の推進 - 令和6年度介護報酬改定による生産性向上に係る取組の推進(介護報酬上の評価の新設等) - 介護施設・事業所内の保育施設の設置・運営の支援 - 生産性向上ガイドラインの普及、生産性向上の取組に関する相談を総合的・横断的に取り扱うワンストップ相談窓口の設置 - 悩み相談窓口の設置、若手職員の交流推進 - オンライン研修の導入支援、週休3日制、介護助手としての就労や副業・兼業等の多様な働き方を実践するモデル事業の実施
④介護職の魅力向上	- 学生やその保護者、進路指導担当者等への介護の仕事の理解促進 - 民間事業者によるイベント、テレビ、SNSを活かした取組等を通じて全国に向けた発信を行い、介護の仕事の社会的評価の向上を図るとともに、各地域の就職相談のできる場所や活用できる支援施策等の周知を実施
⑤外国人材の受入れ環境整備	- 介護福祉士を目指す留学生等の支援(介護福祉士修学資金の貸付推進、日常生活面での相談支援等) - 介護福祉士国家試験に向けた学習支援(多言語の学習教材の周知、国家試験対策講座の開催) - 海外12カ国、日本国内で特定技能「介護技能評価試験」等の実施 - 海外向けオンラインセミナー等を通じた日本の介護についてのPR - 働きやすい職場環境の構築支援(国家資格の取得支援やメンタルヘルスのケアのための経費助成、eラーニングシステム等の支援ツールの導入費用の助成、介護の日本語学習支援、巡回訪問等)

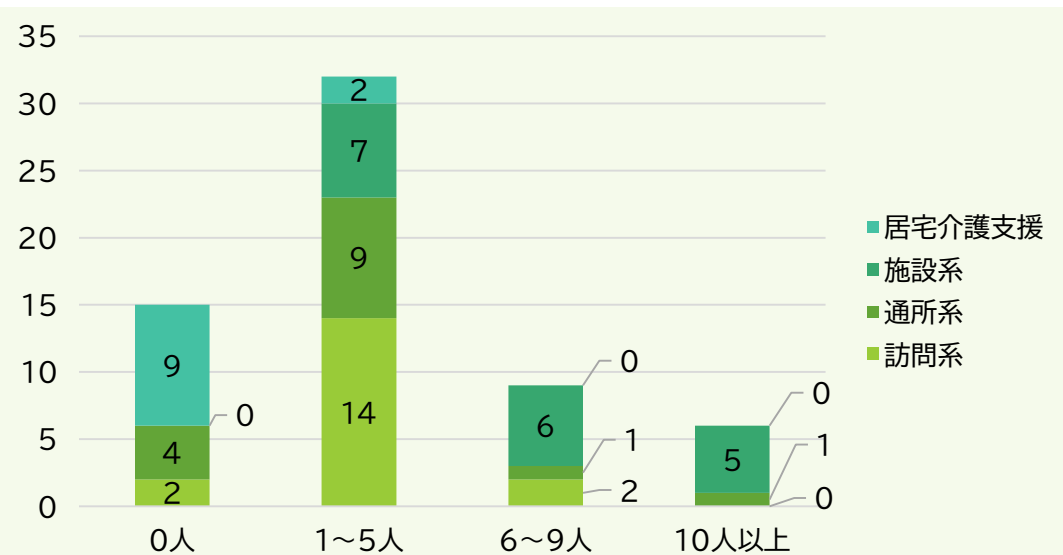
市内事業者へのアンケート

介護人材・定着・育成等に関する介護事業者アンケートを実施

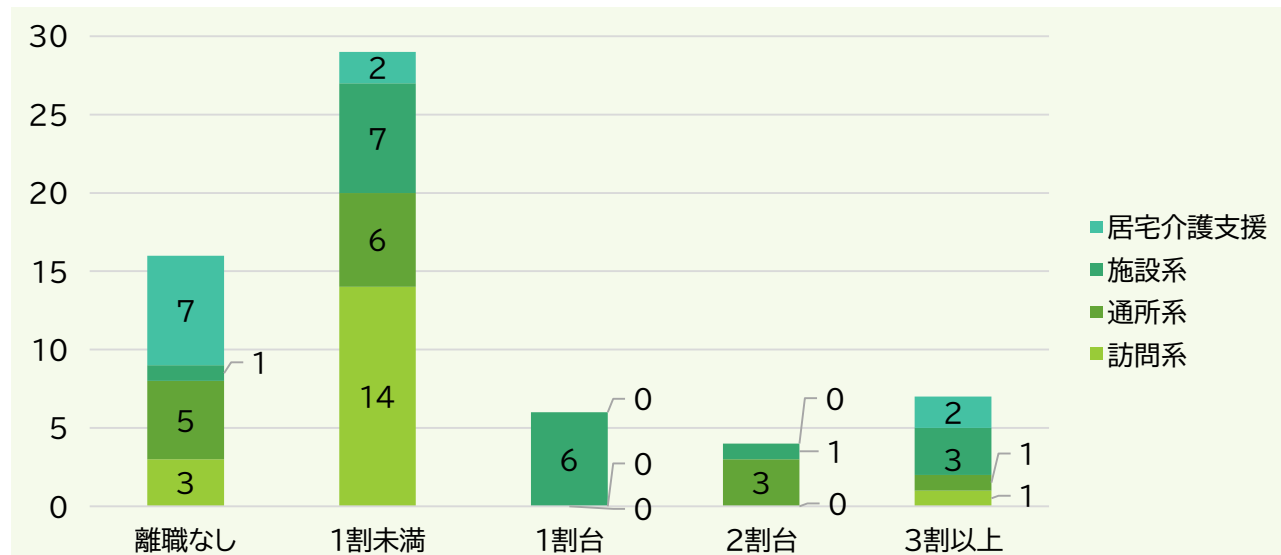
➤実施期間 令和6年11月～12月

➤回答件数 62事業所(訪問系18, 通所系15, 施設系18, 居宅介護支援11)

Q.1 過去1年間※の採用者数



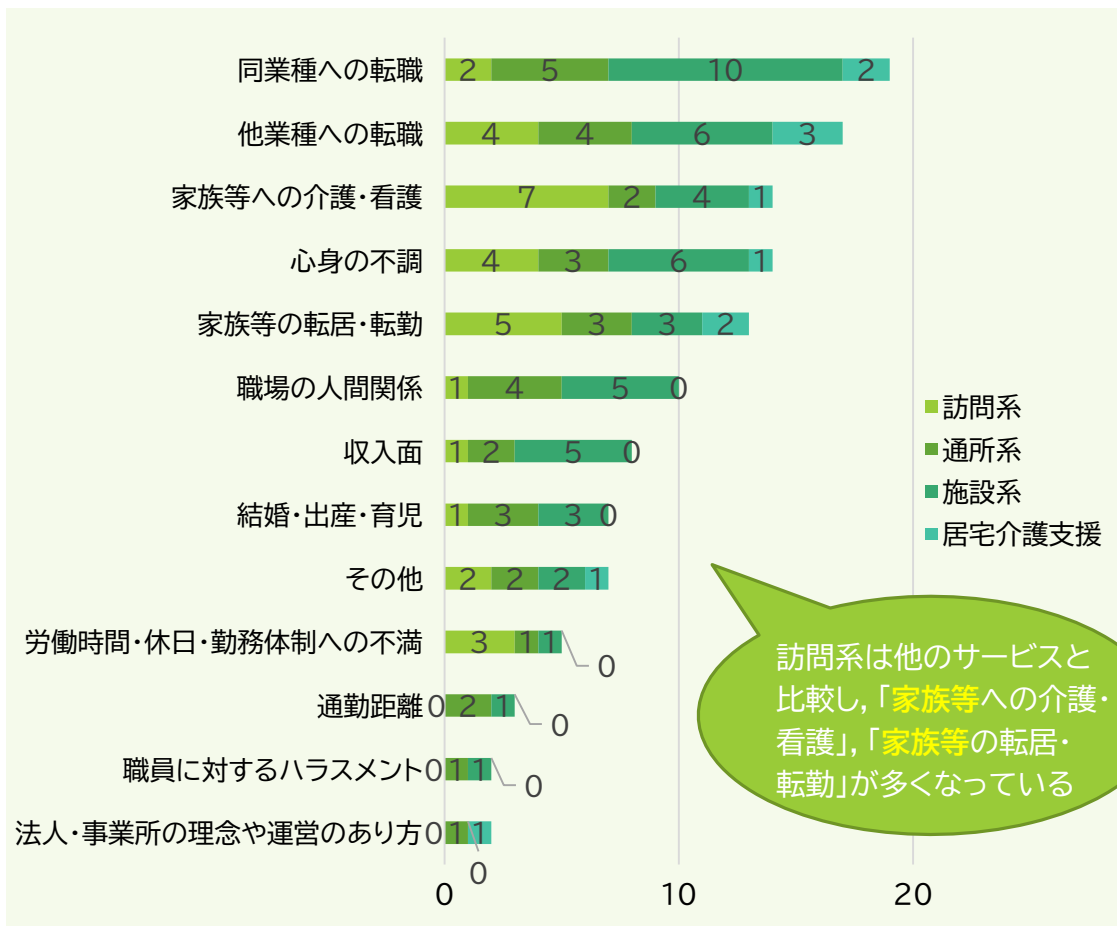
Q.2 過去1年間※の在籍者数に占める離職割合



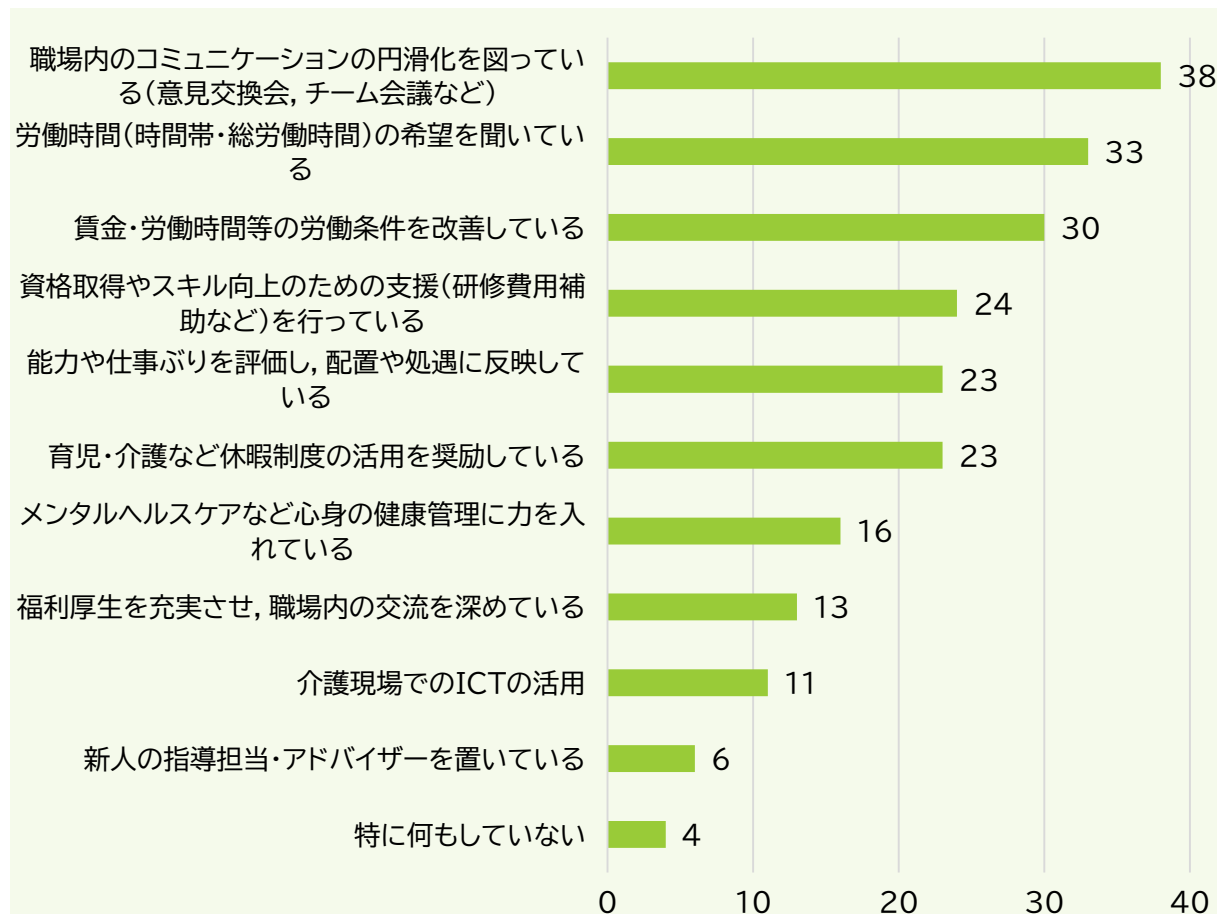
※ 令和5年7月1日～令和6年6月30日

市内事業者へのアンケート

Q.3 主な離職理由

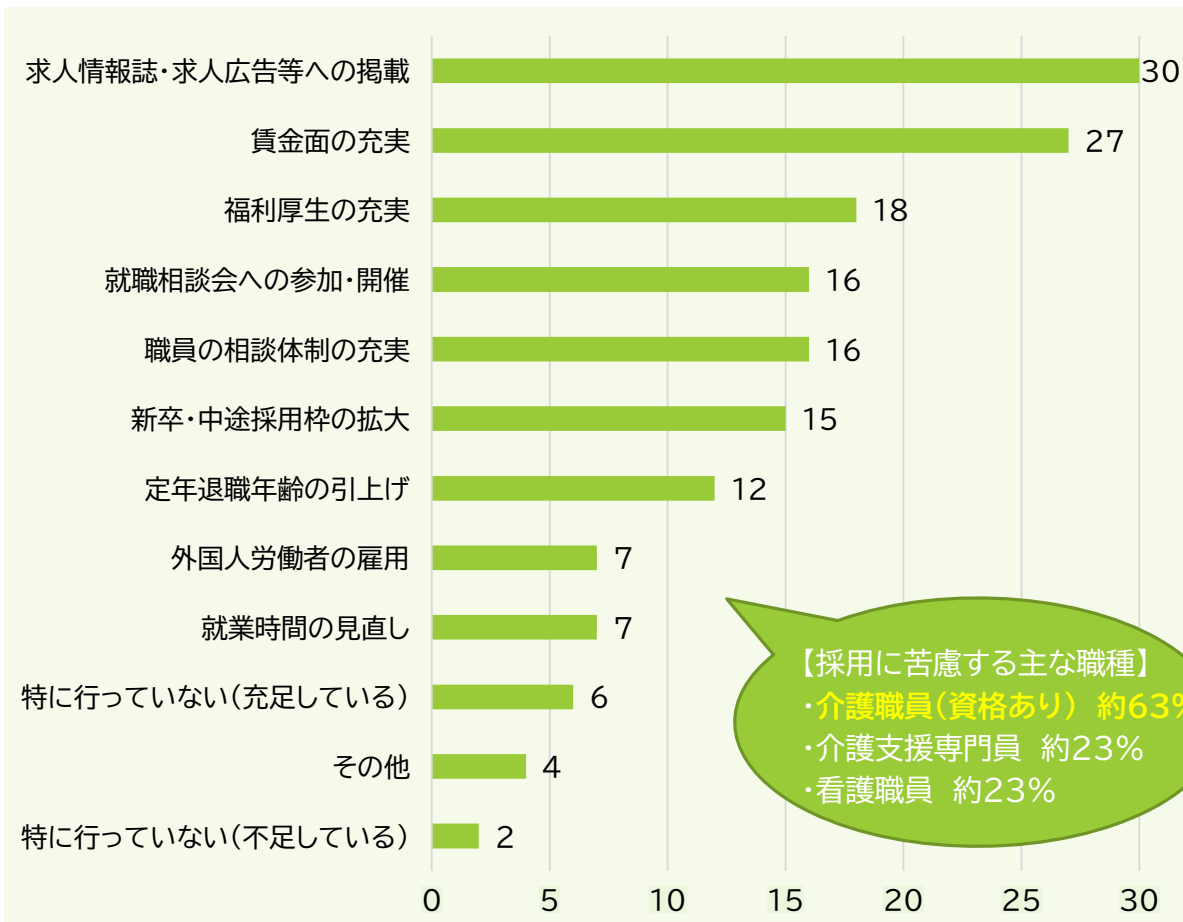


Q.4 職員の定着に向けた取組・工夫

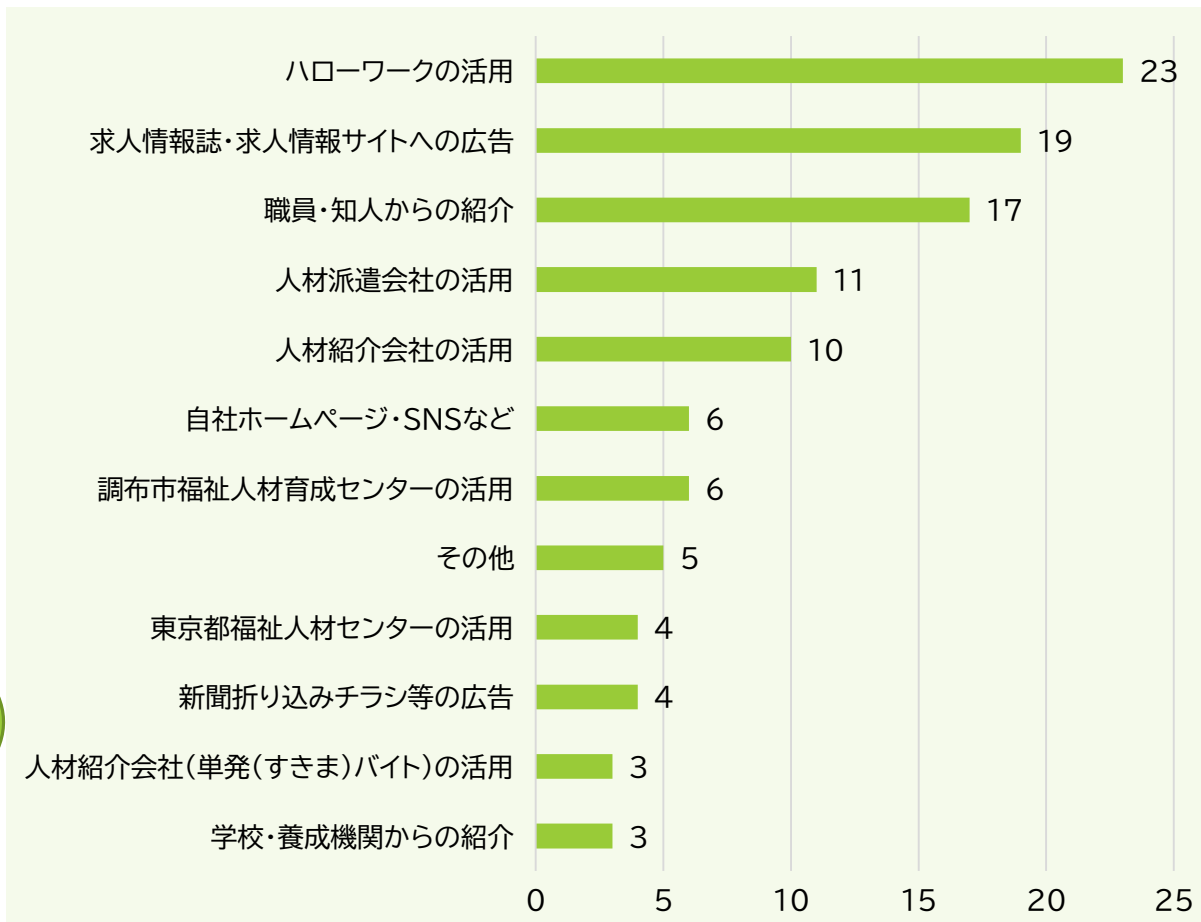


市内事業者へのアンケート

Q.5 人材確保への取組

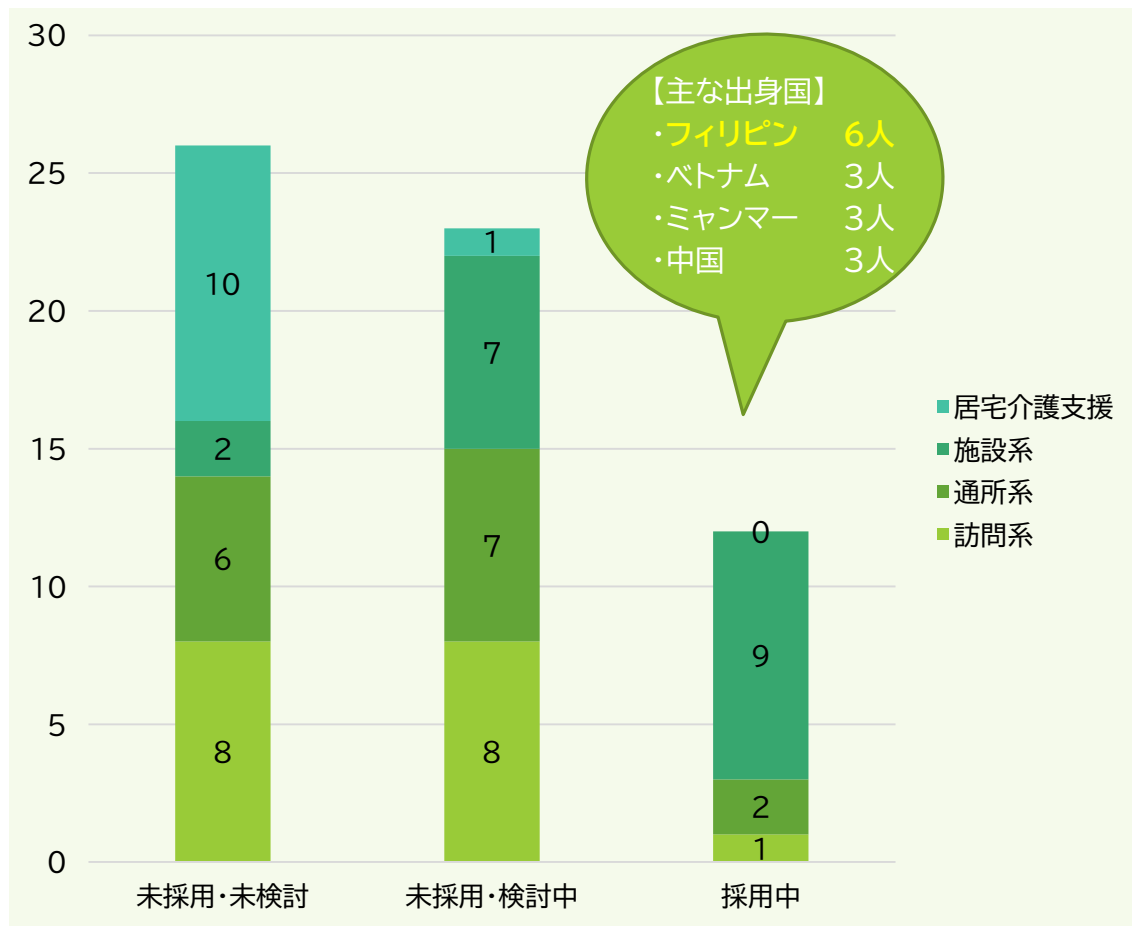


Q.6 採用効果のあった取組

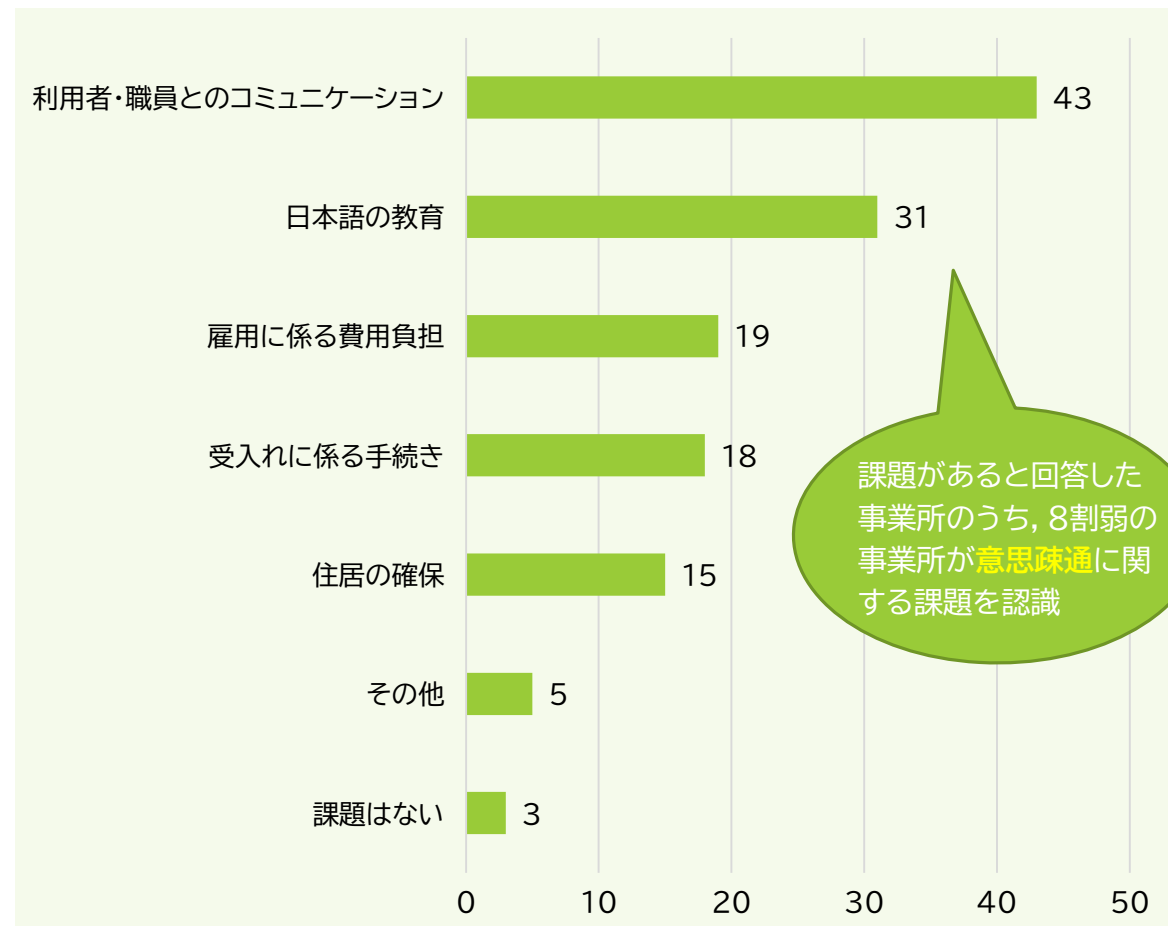


市内事業者へのアンケート

Q.7 外国人人材の活用

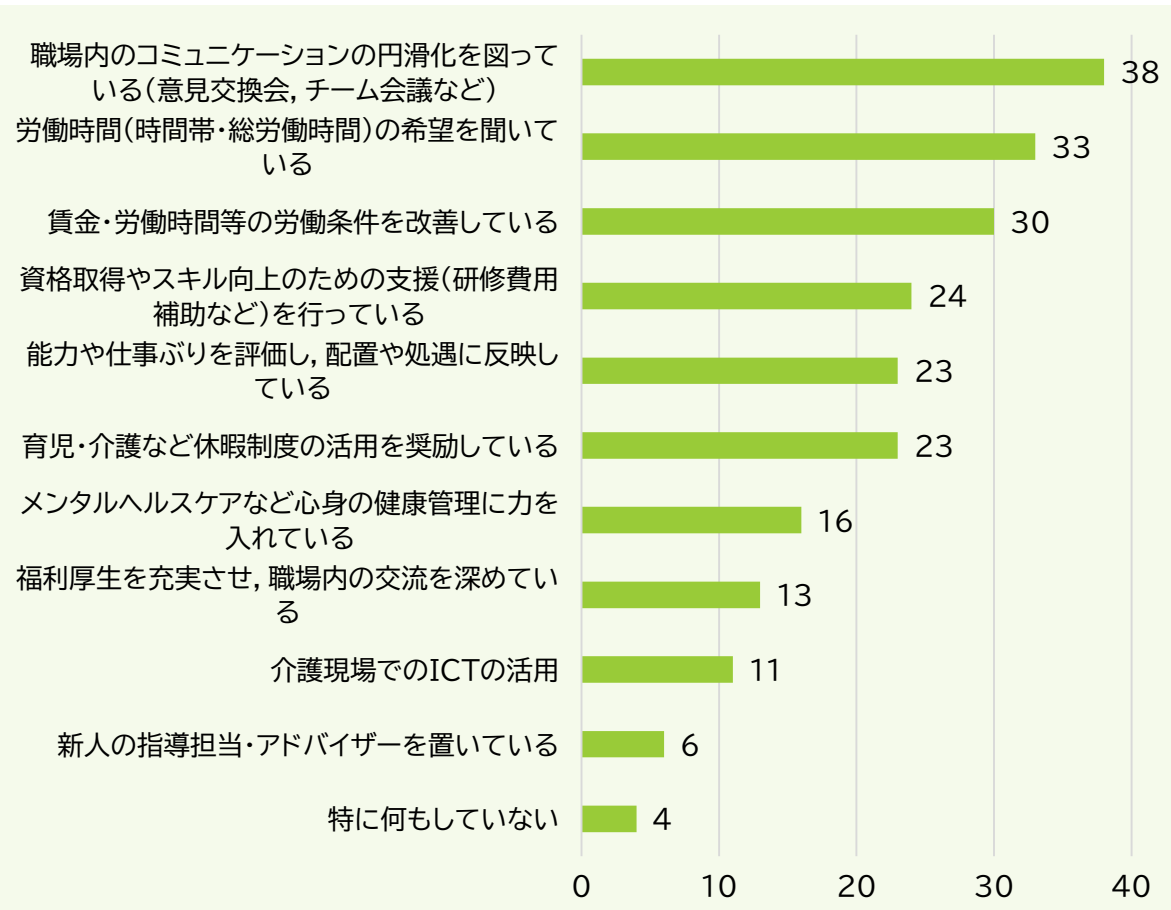


Q.8 外国人人材の活用における課題

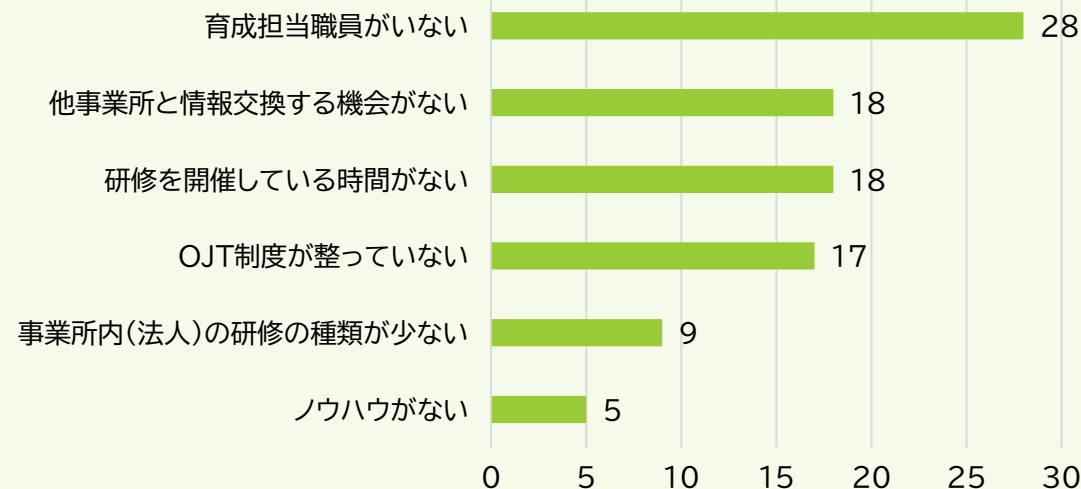


市内事業者へのアンケート

Q.9 職員の定着に向けた取組・工夫



Q.10 人材育成における課題



その他ご意見

- 職員定着には, 業務における「ストレス」「不安感」等を如何に低減するかが肝要, 離職率の抑制に直結する
- 介護の魅力向上・イメージアップと賃金改善は両輪
- 効果の高い対策は, 費用が掛かり運営圧迫。小規模事業所ほど影響大きく, 余裕がない職員採用・運営を強いられている

など

市の主な取組

介護人材の確保・定着やサービスの質の向上につながるよう各種研修事業を実施

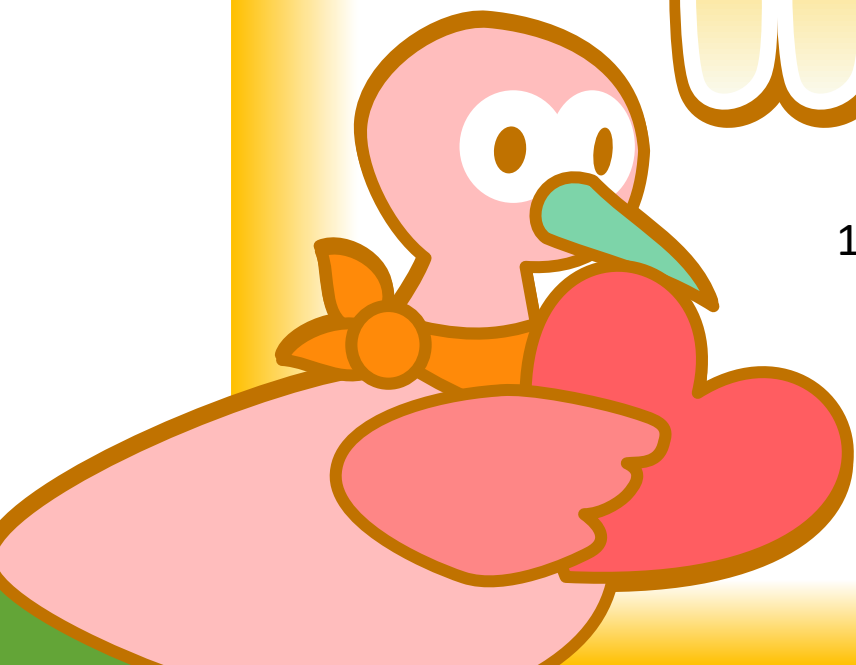
主な研修	内容	講師	実施時期
集団スーパービジョン研修	主任介護支援専門員や事業所の管理者等を対象に、効果的な事例検討やグループワークにおける司会や助言者として、対人援助の質の向上を促す技法などの習得を図る	内藤 佳津雄 氏 日本大学文理学部教授	令和6年6月
介護業界の新しい人材確保の方法	事業者によるスポットワーク等による人材確保の取組事例を紹介	飯塚 氏 東京海上日動ベターライフサービス(株) 岩本 氏 株式会社タイミー	令和6年6月
介護保険制度の理念と福祉職が行うサービス提供に必要なこと	介護職を対象に、グループワークなどを通じて、介護の仕事の価値や利用者の自立支援や尊厳の保持などについて理解を深める	奈良 環 氏 文京学院大学人間学部准教授	令和6年10月
介護現場における利用者や家族等からのハラスメント対策	介護現場におけるハラスメントの定義や種類、事業者におけるハラスメント対策など	高村 浩 弁護士 高村浩法律事務所	令和6年11月
外国人職員受入制度説明会	施設サービス事業所を対象に、外国人介護職員の受入れに関する制度説明会を実施	武井 幸一 氏 (公社)国際厚生事業団	令和7年1月
ストレスマネジメント研修	介護職員のストレス対策を中心に、「ストレスとうまくつきあう方法」などを考える。	石川 次郎 氏 産業カウンセラー・社会福祉士	令和7年1月

11月11日は

介護の日

11月11日は介護の日と定められているのを
ご存じですか？

介護が身近な人もそうでない人も、
本を通して
「介護ってなんだろう？」と
考えてみませんか？



介護の日(11月11日)に合わせた普及啓発

高齢者支援室職員のデザインによる
オリジナル缶バッジを作成



市立中央図書館での図書資料の展示

介護の日(11月11日)に合わせた普及啓発

市庁舎や調布駅構内のほか、ふじみ交流プラザ(深大寺東町のランチ調布内)で
広報動画を放映(市庁舎・調布駅構内は現在も放映中)



東京都福祉人材情報バンクシステム ふくむすび ホームページ



調布駅構内